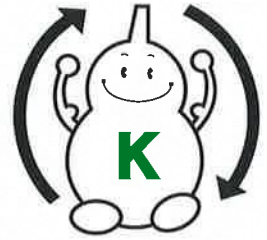


ごみジャーナル

No.45

発行／ごみ問題を考える草津市民会議

編集／広報委員会



クルリーナちゃん
(ごみ問題のキャラクター)

リサイクルフェア草津2018

盛大に開催!

たくさんのご来場
ありがとうございました



各種体験コーナー
楽しい!! 大盛況の体験コーナー



桜の木等を使った小物作り
良いものができました



古布リサイクルおじやみ作り
おじやみ遊びがしたいよ



おもちゃ交換会
掘り出し物のおもちゃ見つけた



牛乳パックでヨーヨー作り
ヨーヨーよく跳ねるよ



ステージ発表 きれいな歌ごえ



ごみ収集車にごみ投入体験
一度やってみてみたかったんだよね



飲食ブース 美味しいものが沢山



新聞紙エコバッグ作り
古新聞で立派なバッグができるよ



朝採野菜の販売
新鮮で安心野菜がいっぱい



段ボールコンポスト展示・販売
野菜は土から作ろう



3R(スリーアール)って知っていますか? (次のページから紹介します)



リサイクルフェア 草津2018

会場スナップ

平成30年9月9日(日)
クリーンセンターにて

段ボールコンポストコーナー

ごみ問題を考える草津市民会議の会員が自宅で段ボールコンポストを使用して栽培した里芋やサツマイモのプランターを並べ、トマト等の夏野菜の写真を展示しました。クイズラリーの一つのポイントでもあったため、親子への段ボールコンポストの説明も多く行い、500円で販売している基本セットを購入する方も大勢いま



した。また会場が広いので、購入された段ボールコンポストに名前を書いて一時置きし、イベントを楽しんだ帰りに引き取りに来られる方もいらっしゃいました。

リサイクル体験コーナー

リサイクル体験コーナーでは様々なブースが設けられ、大変賑いました。ペットボトルや牛乳パックを使った工



作体験では、真剣な眼差しで工作する親子や、子どもに手を引かれ参加する親子など、ほほえましい姿が多く見られました。また風呂敷の活用体験では、風呂敷の色々な使い方に皆さん驚かれ、部屋の片隅に眠っている風呂敷が、ごみの減量に大いに役立つことを改めて再認識されていました。



おもちゃ病院

事前準備していたプログラムを追加印刷するほどの盛況ぶり、色々なお楽しみコーナーがありましたが、壊れたおもちゃを治してくれる「おもちゃ病院」の、修理が出来上がった時の親子の嬉しそうな笑顔が忘れられませんでした。なかには県外からの持ち込みもあり、リユースの大事さを、改めて痛感しました。



ごみ問題を考える 草津市民会議顕彰

オムロン株式会社草津事業所様を環境保全に関する実践活動に尽力されている事業者として、顕彰を行いました。

同社は、清掃奉仕活動を20年以上、継続して実施されているとともに、草津市の「みちサポーター事業」とのコラボレーションで、全社員が就業時間を使って、公道の環境整備を行っていただけることを称えるものです。私たちごみ問題を考える市民会議は、市民・団体・事業者等様々な担い手が、ゴミ問題・環境問題に関心を持ち、街づくりに参画していただくことを願っています。



新しいクリーンセンターが本格稼働



平成30年3月16日に新たなクリーンセンターが本格稼働しました。新クリーンセンターは従来からのごみ処理機能だけに留まらず、各種体験学習や環境関連のイベント、啓発展示等を通して、環境問題をより身近に感じ、人々が集い、学び、体験できる施設として「くさつエコスタイルプラザ」が新設されました。

くさつエコスタイルプラザでは、ごみ処理過程の見学をはじめ、各種ワークショップも多数用意されており、楽しく環境問題について学ぶことができます。

22回目を迎えた、リサイクルフェア草津も、今年は装いも新たに、この新たなクリーンセンターで行い、多くの方にご来場いただきました。様々な体験や見学会を通して、ごみの問題や3Rについて理解を深めていただきました。

○来場者の感想

- ・子どもも大人も楽しく学びました。
- ・とても勉強になる施設でした。
- ・いろいろ学べて、エコな体験もできて楽しめました。
- ・ごみをかき混ぜる迫力にびっくりしました。



草津市の一人あたりの1日に 排出するごみ量は減少傾向!!

草津市は人口が増加していますが、市民一人が1日に排出するごみ量は、減少傾向にあります。市民のみなさんに、ごみ減量に対する意識が広がっていることが要因として考えられます。今後も、私たち一人ひとりがごみの減量に努めましょう!!

※平成29年度の市民一人あたりの1日に排出するごみ量は779g。 **前年度比 約0.37g減少!!**



見て・聞いて・体験バスツアー

平成30年8月8日(水)

酷暑続きの今夏でも比較的過ごしやすい暑さの中、市役所を出発し、ダイキン工業株式会社滋賀製作所へ向かいました。日陰は涼しい風が吹き大変心地良い「ダイキン滋賀の森」で自然観察会を開始。普段見れない、かみきり虫に噛まれた木々等が見られ、講師の池田勝さんの、引き込まれるお話であったという間の1時間の観察会でした。

午後からは、クリーンセンターへ向かい、ごみ処理過程の見学や、普段中々入れない処理場内部の見学という貴重な体験をしました。最後は、くさつエコスタイルプラザで廃材を使ったペンダント作り等のワークショップを行い、ツアータイトルの通り、一日を通して、見て、聞いて、体験する楽しいバスツアーになりました。



“ごみの減量県[全国2位]からの警鐘!発信!”

世界的なごみの話題として、スターバックスのプラスチック・ストロー全廃の発表や、データブック「近未来予測2025」に拠る、“2050年には世界の海を漂うプラスチックの数が、魚の数を上回っているかもしれない”など驚愕の指摘が数々あります。また、日本は一人当たりの使い捨てプラスチックの発生量は米国に次ぎ世界で第2位であり、さらにはG7の海洋プラスチック憲章の署名を見送り、批判を浴びています。来年6月の大阪開催のG20ではプラスチックごみによる海洋汚染をテーマのひとつとして議論するとのことと期待したいものです。

私達が出来る事で例を挙げると、包装の少ない食品等の購入や、お弁当の持参、そしてミツバチの巣からとれる「蜜ろう」を使用したラップ作り等もあります。ごみの減量県全国2位として、県民一人ひとりが本領発揮をすべきではないでしょうか、全国1位を目指す為にも。



一人1日当たりのごみの排出量 全国平均925g

排出量が少ない県ランキング (環境省発表)

(平成28年度)

1位 長野県(822g)、2位 滋賀県(831g)、3位 熊本県(843g)

事務局

TEL (077) 561-6580
FAX (077) 561-6583
E-Mail: ecostyle@city.kusatsu.lg.jp

【広報委員】

- ・松村 幸子・山本 正行・木村 兼久
- ・川瀬 善行・太田 信一・清水 節子
- ・油布 輝義・富山 康夫・山口 尚孝

「ごみジャーナル第45号」についてのご意見、感想をお気軽に左記までお寄せください。
〒525-0043
草津市馬場町1200番地25
草津市役所くさつエコスタイルプラザ内
「ごみ問題を考える草津市民会議」
広報委員会

編集後記

9月9日に開催された「リサイクルフェア草津2018」は、非常に強い勢力で25年ぶりに全国各地に大きな被害をもたらした台風21号が通過した後の慌ただしいなかで実施となりました。会場がクリーンセンター内(くさつエコスタイルプラザ)に移動したことも相まって、来場してくださる方々の人数が減少しないかと心配していましたが、お陰さまで盛況に終えることができました。ありがとうございました。

クリーンセンターへのQ&A ごみ搬入

- Q: 家庭のごみをクリーンセンターへ直接持込むときに必要なものはありますか?
A: 排出者本人および草津市内居住の両方が確認できる公的証明書(運転免許証等)の提示が必要です。また、一度に2トン車1台程度以上の木くず(剪定枝・廃材等)やがれき類を搬入する場合は、3日前までに申込手続きをしていただき、内容等を確認させていただきます。
- Q: クリーンセンターに持込みできない家庭ごみはどんなものがありますか?
A: 搬入できない家庭ごみには次のようなものがあります。詳細は、お問合わせください。
- 家電リサイクル法対象品目(テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫・ワインセラー、洗濯機・衣類乾燥機など) → 購入店や家電販売業者にお問合わせください。
 - パソコン → メーカーやパソコン3R推進センター(☎03-5282-7685)にお問合わせください。
 - 土・砂・石
 - その他、処理が困難なものとして、バイク、消火器、タイヤ、バッテリー、自動車、自動車の部品、ピアノ(電子ピアノは可)、農機具、農業用資材、ガスボンベ、耐火金庫などは搬入できません。
- <申込み・問合せ先>
草津市立クリーンセンター(資源循環推進課)
☎077-562-6361